

風致地区内における許可行為の変更許可等申請書

(あて先) 京都市長		〇〇年 〇〇月 〇〇日	
行為者の住所 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488		行為者の氏名 風致 守 当初の許可について記入して下さい。 既に許可の変更をしている場合でも同様です。(75)	
☒ 京都市風致地区条例第2条第1項後段の規定 ☐ 京都市風致地区条例第2条第3項の規定による協議行為の変更の協議を申請。			
元の許可(又は協議成立)の年月日及び番号		××年 ××月 ××日 第 〇〇〇〇〇号	
行為の場所	京都市 〇〇区〇〇〇〇町〇〇番地, □□番地		
変更する理由	他法令の手続きに時間を要したため		
代理人	住所	京都市△△区△△△△町△△番	
	氏名	△△△△一級建築士事務所 景観 保子 (担当者 三山 碧) (電話 △△△-△△△△)	
変更のない項目については、記入の必要はありません。		載 事 項 の 変 更	
変 更 前		変 更 後	
行 為 者	住所	住所	
	氏名 (電話 -)	氏名 (電話 -)	
行 為 の 場 所			
行 為 の 期 間	☒ 許可日又は協議成立日 ☐ その他 (年 月 日) から		☐ 元の許可日又は協議成立日 ☒ 変更許可日又は変更協議成立日 から
	〇〇年 〇〇月 〇〇日 まで		△△年 △△月 △△日 まで
	(注) 申請の「行為の内容」については、全て「行為の期間」内に行う必要があります。		
工 事 施 工 者	住所	住所	
	氏名 (電話 -)	氏名 (電話 -)	
※受付の年月日及び番号		年 月 日 第 号	
※ 変更許可(変更協議成立)の年月日及び番号		年 月 日 第 号	

- 注 1 該当する□には、☒印を記入してください。
- 2 この書面を表紙にして、添付図書とともに「正・副2部」を作成、提出してください。
- 3 この変更手続には、元の許可通知書、許可申請書及びその添付図書(副本)を提出してください。行為内容に変更がある場合は、変更内容がわかる図書を添付してください。
元の許可通知書、許可申請書及びその添付図書(副本)は、変更に係る許可通知書交付時にお返しします。
- 4 行為内容に変更がある場合は、第2号様式-2に記載のうえ、提出してください。
- 5 変更に係る事項のみ記入してください。また、※印の欄には記入しないでください。
- 6 行為者の変更は、氏名の変更、法人名称の変更又は住所の変更が生じた場合に記入してください。
行為者が第三者に変更される場合は、改めて許可(協議)申請してください。
- 7 変更内容が軽微でないと認められる場合は、改めて許可(協議)申請をしてください。

[illegible]

注 1 行為の内容の変更は、変更項目ごとに記載し、変更前及び変更後の内容を対比させて記入してください。

2 変更内容については、図面に変更箇所がわかるように図示してください。